

暮らしの中に人権の輪を広げよう！

日野町解放文化祭へのご来場、ありがとうございました。

第41回日野町解放文化祭（日時：10月21日※展示は20・21日の2日間、会場：下榎隣保館・集会所）



▲同和地区の職業にふれた福原さん

人権講演会

開会式終了後、「人間を尊敬すること」と題し、部落解放同盟米子市協議会副議長の福原潤一さんを講師に迎え、講演を行いました。

現在、西伯小学校の教頭先生でもある福原さん自身の話をはじめ、同和地区の人の職業の一つとなっていた牛の解体業についてもふれました。

牛の解体は、日本の医学の先駆けとなる「解体新書」に大きく貢献していたそうです。また、「牛の解体で命をいただいで生きてきた」ということは、そのいただいた命を無駄に



▲吹奏楽部の演奏に聴き入る来場者

せず、捨てられるものも工夫するということ」と福原さん。「肉羊羹」ともいわれる「ごごろかし（肉の煮こごり）」や「炒りカス」などを作って食糧にしたり、また皮を利用した履物や太鼓作りも主に同和地区の職業となっていたことも説明しました。

最後に、福原さんは「厳しい差別の中で生きていくために、人が嫌がる仕事をせざるを得なかった。そしてそれが世の中を支える仕事となっている。仕事に誇りを持つこと、併せて伝統を引き継ぐことも大切ですよ」と私たちに語りかけていました。



▲「よいしょー」。つきたては絶品の味

演奏会

日野中学校吹奏楽部の皆さんによる元気いっぱい演奏会です。美空ひばりさんの「川の流れるように」から始まり、「J・B est 17」、ゆずの「夏色」、そしてアンコールは「365日の紙飛行機」が演奏されたほか、おなじみの部員のトークで会場は盛り上がりました。7人と少ない部員ですが、会場いっぱい響きわたる演奏でした。



▲ユニークないでたちに大盛り上がり

もちつき

晴天の下、餅つきのかげ声が響きわたりました。雑煮にぜんざい、きなこの3種類のもちが準備され、来場者はそれぞれの味を堪能しました。中には、3種類制覇した人も…。つきたての杵つき餅はさすがのおいしさでした。

演芸大会

文化祭の最後を飾ったのは、お待ちかねの演芸大会。

はじめに、舟場昭和会の皆さんが「銭太鼓」で華やかにオープニングを飾ると、どじょうすくい、舞踊、今年初出場の方の歌と踊りなど、にぎやかな大会となりました。最後に、生田進教育長があいさつし、大盛況の文化祭を締めくくりました。

ただいま
参加者募集中！

第42回新春囲碁・将棋大会

日時：平成31年1月12日（土）午前9時開会

場所：日野町老人憩の家（下榎） 参加費：一人1,000円（弁当代込）

※参加申し込みなど詳しくは、下榎隣保館までお問い合わせください。皆さんの参加をお待ちしています！

KEEP OUT

KEEP OUT

KEEP OUT

KEEP OUT

獣害対策

お役立ち情報も。そこそこ教えて、木下チーフ！



最前線

vol. 8

鳥獣被害対策って「防犯」みたいなもの

日野町鳥獣被害対策協議会 実施隊チーフ 木下卓也【問合せ】電話 72-1399

「人の方が柵の中で暮らしているようなものだ」。鳥獣被害対策の中で私がよく聞く話ですが、皆さんもどこかで言ったり、聞いたことありませんか？

また、「都会は物騒だから、オートロック付きの家に住んだ方がいい」という話はどうでしょう？

実はこのオートロック付きの家は、まさに柵の中で暮らすようなものです。私の実家は大阪の一軒家ですが、車で5分のコンビニに行くのにも、玄関の鍵を閉めて、ガレージを開けて、車を出して、ガレージを閉めて、出発。戻ればガレージを開けて…(出発時の逆の手順の為、以下省略します)ととても面倒です。でも防犯のために、鍵付きの扉や塀の中で暮らしていました。

鳥獣被害は災害のように捉え

今月のCHECKポイント!

視点をええれば見えてくる、鳥獣被害対策

肩身の狭い思いをする侵入防止さく。地域防犯対策の一環として考えてみると、「よしやってやるぞ!」という気がしてきませんか?

ダッ



それがちですが、少し見方を変えれば有害鳥獣から受ける「空き巣」被害です。私たちの近所には、このような悪いヤツらが暮らしているのですが、当の彼らは悪いことをしている自覚がありません。自分たちが食べることでできるオイシイものが、そこにあって、ただそれを食べているだけのことと思っています。その食べ物が、人間の作る「農作物」だから問題なのです。考え方の一つとして、柵の設置は彼らを余計な悪事から救っているという見方もできなくはないはず、というのはちよつと無理があるでしょうか？

KEEP OUT

KEEP OUT

KEEP OUT

KEEP OUT

KEEP OUT

KEEP OUT

KEEP

～こんにちは、消費生活相談員です～

知って安心! 消費生活のはなし



不審電話 注意報 発令中!



公共放送を名乗って身辺調査の電話が。その後、県庁職員をかたった不審電話も

<事例> 「公共放送の担当者」と名乗る電話があった。「一人暮らしの人にかけています。同居のお子さんがおられますか?」「預貯金はどれくらいありますか?」と聞かれた。その後、近所の知り合いに話したら、「うちにも電話があった。すぐ切った」と教えてくれた。

2日後、「県庁の安全課の〇〇です」と電話があった。「警察と協力して電話しています。実はあなたの個人情報が入った民間企業に漏えいしている」と言われたが、すぐに電話を切った。(日野町内 70 歳代女性)

<アドバイス> 個人情報の漏えいと電話をかけ、不安をあおることで住民を驚かせ、その後何らかの口実をつくって住民から金銭を払わせようとするケースがあります。公共放送の担当者が、あなたの預貯金をたずねることはあり得ません。

このように、悪質業者はさまざまな手段で皆さんを狙っています。類似事例が県内の他地域でもあられるようです。十分注意しましょう。



※困ったなと思ったら、あきらめずに日野町消費生活相談窓口へ (解決困難事案は法律相談会への紹介も行います)

- ▶消費生活相談窓口直通ダイヤル(電話 72 - 0336) ※役場産業振興課内
- ▶土日は、鳥取県立消費生活センターへ(電話 0859-34-2648)